



## 平成31年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年12月27日

上場会社名 DCMホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3050 URL <https://www.dcm-hldgs.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 久田 宗弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務統括部長 (氏名) 熊谷 寿人 TEL 03-5764-5214  
 四半期報告書提出予定日 平成31年1月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年2月期第3四半期の連結業績（平成30年3月1日～平成30年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第3四半期	343,193	1.0	18,429	5.9	17,452	4.0	11,437	6.1
30年2月期第3四半期	339,878	0.7	17,403	△0.6	16,786	0.9	10,785	6.8

(注) 包括利益 31年2月期第3四半期 13,690百万円 (21.5%) 30年2月期第3四半期 11,266百万円 (2.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第3四半期	83.70	72.69
30年2月期第3四半期	76.43	66.66

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第3四半期	429,334	189,732	44.2
30年2月期	403,136	183,403	45.5

(参考) 自己資本 31年2月期第3四半期 189,732百万円 30年2月期 183,403百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	13.00	—	13.00	26.00
31年2月期	—	13.00	—		
31年2月期(予想)				13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成31年2月期の連結業績予想（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	454,100	2.4	21,000	7.7	20,200	8.5	11,800	4.3	85.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年2月期3Q	142,475,659株	30年2月期	142,472,554株
② 期末自己株式数	31年2月期3Q	8,252,311株	30年2月期	4,455,367株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年2月期3Q	136,659,187株	30年2月期3Q	141,113,084株

(注) 自己株式数には、「役員報酬BIP信託口」及び「従業員ESOP信託口」の所有する当社株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記載は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	9
商品別売上情報	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融政策のもと企業収益・雇用環境に緩やかな回復基調が見られましたが、米中の保護貿易問題や欧州・新興国の景気減速懸念等、先行きについては不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、企業収益の回復基調と比較して個人消費は力強さに欠け、また業態を超えた販売競争もあり、依然として厳しい経営環境にあります。

このような状況のもと、当社グループでは、新規出店については16店舗、退店については10店舗を実施いたしました。これにより当第3四半期連結会計期間末日現在の店舗数は675店舗（DCMカーマ170店舗、DCMダイキ158店舗、DCMホームマック292店舗、DCMサンワ33店舗、DCMくろがねや22店舗）となりました。

販売面について、3～8月は販売のピークとなるゴールデンウィークの天候不順により、園芸用品等が低調となりました。一方、酷暑により冷房用品・散水用品等が好調に推移しました。9～11月は天候にも恵まれ園芸用品・塗料等が好調に推移しました。また、地震・風水害などにより復旧復興・防災用品等も好調に推移しました。DCMブランド商品については、商品開発・販促強化等に取り組んだ効果もあり好調に推移しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における営業収益は3,431億9千3百万円（前年同期比101.0%）、営業利益は184億2千9百万円（前年同期比105.9%）、経常利益は174億5千2百万円（前年同期比104.0%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は114億3千7百万円（前年同期比106.1%）となりました。

なお、セグメントごとの業績については、8ページ「セグメント情報等」をご覧ください。

## (主要商品部門別の状況)

## ① 園芸・エクステリア部門

天候不順や酷暑により、園芸用品・植物等は低調となりましたが、DCMブランドの散水用品やオーニング等が好調に推移しました。また、相次いだ地震・台風による復旧需要により、ブルーシート、ロープ、発電機、ポンプ等が好調に推移しました。その結果、売上高は577億0千万円（前年同期比97.8%）となりました。

## ② ホームインブルーメント部門

酷暑により夏物作業衣料は好調となりましたが、秋の冷え込みが弱いことにより防寒作業衣料・手袋等の季節商品が低調な出足となりました。また、地震・風水害による復旧需要により、資材・防災用品等が好調に推移しました。DCMブランド商品については、売場展開を強化した電動工具が好調に推移しました。その結果、売上高は693億9千万円（前年同期比103.6%）となりました。

## ③ ホームレジャー・ペット部門

サイクル・レジャー用品は、DCMブランドのパンクしない自転車などを始めとして、品揃えを強化した結果好調に推移しました。ペット用品は、生体の販売は好調に推移しましたが、ペットフードは低調となりました。その結果、売上高は509億7千1百万円（前年同期比99.4%）となりました。

## ④ ハウスキーピング部門

酷暑により害虫の発生が少なく殺虫剤が不振となった他、日用消耗品は全般的に低調となりました。また、災害需要や防災意識の高まりなどにより、飲料水・保存食品等が好調となりました。DCMブランド商品については、新規開発した傘、マスクが好調に推移しました。その結果、売上高は812億7千1百万円（前年同期比98.0%）となりました。

## ⑤ ホームファニッシング部門

夏場は、酷暑により冷感寝具が好調となりましたが、秋冬寝具・こたつ布団等の季節商品が低調な出足となりました。DCMブランド商品については、新規開発したベッド、マットレス、バスマット等が好調に推移しました。その結果、売上高は204億3千6百万円（前年同期比95.3%）となりました。

## ⑥ ホームエレクトロニクス部門

品揃えを強化し企画展開した冷房用品などの空調関連機器が好調に推移しました。また、相次いだ地震・台風による停電の影響もあり、電池、懐中電灯、カセットコンロ・ボンベ、石油ストーブ等が好調となりました。その結果、売上高は281億4千2百万円（前年同期比103.8%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産残高は、季節的要因及び㈱ケーヨーへの商品供給による商品在庫や売掛金の増加、新規16店舗の出店等による有形固定資産の増加などにより、資産合計は前連結会計年度末に比較して261億9千7百万円増加し、4,293億3千4百万円となりました。

負債残高は、季節的要因及び㈱ケーヨーへの商品供給による買掛金の増加などにより、負債合計は前連結会計年度末に比較して198億6千8百万円増加し、2,396億1百万円となりました。

純資産残高は、配当金の支払、自己株式の取得による減少の一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、その他有価証券評価差額金の増加などから、純資産合計は前連結会計年度末に比較して63億2千9百万円増加し、1,897億3千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期の連結業績予想につきましては、平成30年4月13日の決算短信発表時に公表いたしました業績予想から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	11,893	15,728
受取手形及び売掛金	5,228	20,631
リース投資資産	2,809	2,678
商品	93,911	99,680
繰延税金資産	1,397	1,612
その他	7,302	6,878
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	122,541	147,209
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	217,849	223,033
減価償却累計額	△124,011	△127,072
建物及び構築物 (純額)	93,838	95,961
土地	80,955	80,880
リース資産	17,604	18,306
減価償却累計額	△4,017	△4,577
リース資産 (純額)	13,586	13,728
建設仮勘定	2,328	590
その他	38,519	40,292
減価償却累計額	△29,574	△31,570
その他 (純額)	8,945	8,721
有形固定資産合計	199,655	199,883
<b>無形固定資産</b>		
のれん	1,615	1,394
借地権	6,543	6,535
ソフトウェア	4,324	5,179
その他	242	238
無形固定資産合計	12,726	13,346
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	19,080	21,829
敷金及び保証金	43,213	41,624
繰延税金資産	2,172	1,904
長期前払費用	2,783	2,662
その他	1,041	949
貸倒引当金	△77	△76
投資その他の資産合計	68,213	68,893
固定資産合計	280,595	282,124
資産合計	403,136	429,334

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,000	41,054
電子記録債務	15,467	22,526
短期借入金	22,950	23,050
1年内返済予定の長期借入金	14,378	10,123
リース債務	708	756
未払法人税等	2,822	3,233
賞与引当金	1,675	2,550
役員賞与引当金	6	11
ポイント引当金	601	647
その他	12,574	14,268
流動負債合計	96,185	118,223
固定負債		
社債	10,000	10,000
新株予約権付社債	19,983	19,980
長期借入金	65,013	62,466
リース債務	15,628	15,866
繰延税金負債	1,162	2,065
再評価に係る繰延税金負債	147	147
役員株式給付引当金	37	72
退職給付に係る負債	288	277
資産除去債務	1,875	1,934
長期預り金	5,400	5,333
その他	4,009	3,233
固定負債合計	123,547	121,377
負債合計	219,733	239,601
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,008	10,010
資本剰余金	45,103	45,105
利益剰余金	131,344	139,206
自己株式	△4,326	△8,115
株主資本合計	182,129	186,207
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,200	5,445
繰延ヘッジ損益	△25	2
土地再評価差額金	△1,935	△1,935
退職給付に係る調整累計額	34	13
その他の包括利益累計額合計	1,273	3,525
純資産合計	183,403	189,732
負債純資産合計	403,136	429,334

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
売上高	334,685	337,871
売上原価	224,194	226,903
売上総利益	110,490	110,968
営業収入		
不動産賃貸収入	5,193	5,321
営業総利益	115,683	116,289
販売費及び一般管理費	98,280	97,860
営業利益	17,403	18,429
営業外収益		
受取利息	156	151
受取配当金	154	162
為替差益	158	168
持分法による投資利益	192	—
その他	248	279
営業外収益合計	910	760
営業外費用		
支払利息	1,338	1,474
持分法による投資損失	—	138
その他	188	125
営業外費用合計	1,527	1,738
経常利益	16,786	17,452
特別利益		
固定資産売却益	0	18
受取補償金	723	—
受取保険金	—	691
賃貸借契約解約益	—	144
その他	0	1
特別利益合計	724	856
特別損失		
固定資産除売却損	297	315
減損損失	579	17
賃貸借契約解約損	305	—
災害による損失	—	767
その他	122	110
特別損失合計	1,304	1,210
税金等調整前四半期純利益	16,207	17,097
法人税、住民税及び事業税	4,928	5,510
法人税等調整額	493	149
法人税等合計	5,421	5,660
四半期純利益	10,785	11,437
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,785	11,437



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年11月30日)
四半期純利益	10,785	11,437
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	401	1,832
繰延ヘッジ損益	3	28
退職給付に係る調整額	△1	△25
持分法適用会社に対する持分相当額	77	417
その他の包括利益合計	480	2,252
四半期包括利益	11,266	13,690
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,266	13,690
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年6月29日開催の取締役会決議に基づき、自己株式4,000,240株の取得を行いました。これにより、自己株式が3,984百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	DCMカーマ	DCMダイキ	DCMホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	98,870	70,356	140,590	30,060	339,878	—	339,878
セグメント間の内部 売上高又は振替高	119	3	5	41,526	41,655	△41,655	—
計	98,990	70,360	140,596	71,586	381,534	△41,655	339,878
セグメント利益	5,578	3,042	7,801	8,544	24,966	△7,563	17,403

- (注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)及びDCMサンワ(株)並びにDCMくろがねや(株)における取引等です。  
 2. セグメント利益の調整額△7,563百万円は、セグメント間取引消去△7,565百万円、その他2百万円であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 記載すべき事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	DCMカーマ	DCMダイキ	DCMホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	98,875	68,748	139,861	35,708	343,193	—	343,193
セグメント間の内部 売上高又は振替高	119	3	8	42,146	42,277	△42,277	—
計	98,994	68,752	139,869	77,854	385,471	△42,277	343,193
セグメント利益	5,942	3,534	7,602	8,334	25,414	△6,985	18,429

- (注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)及びDCMサンワ(株)並びにDCMくろがねや(株)における取引等です。  
 2. セグメント利益の調整額△6,985百万円は、セグメント間取引消去△6,985百万円、その他0百万円であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 記載すべき事項はありません。

(重要な後発事象)

自己株式の取得

当社は、平成30年12月27日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議いたしました。

詳細につきましては、本日付で別途開示しております「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 補足情報

商品別売上情報

(単位：百万円、%)

事業部門	前第3四半期 連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)		当第3四半期 連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年11月30日)		(参考) 前連結会計年度 (自 平成29年3月1日 至 平成30年2月28日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
ホームセンター事業						
園芸・エクステリア	59,008	17.6	57,700	17.1	70,223	16.1
ホームインプルーブメント	66,980	20.0	69,390	20.5	87,251	20.0
ホームレジャー・ペット	51,271	15.3	50,971	15.1	65,376	15.0
ハウスキーピング	82,910	24.9	81,271	24.1	109,352	25.0
ホームファニッシング	21,433	6.4	20,436	6.0	27,939	6.4
ホームエレクトロニクス	27,119	8.1	28,142	8.3	38,924	8.9
その他	23,874	7.1	23,352	6.9	33,957	7.8
ホームセンター事業計	332,599	99.4	331,264	98.0	433,024	99.2
商品供給高	2,085	0.6	6,607	2.0	3,634	0.8
合計	334,685	100.0	337,871	100.0	436,659	100.0

(注) 1. 記載金額には消費税等は含まれておりません。

2. ホームセンター事業の部門別の主な取扱商品は、次のとおりであります。

部門	取扱商品
園芸・エクステリア	園芸用品、大型機械、農業・業務資材、植物、エクステリア、屋外資材 住宅設備他
ホームインプルーブメント	作業用品、金物、工具、塗料、補修、木材、建築資材他
ホームレジャー・ペット	カー用品、スポーツ、玩具、自転車、レジャー、ペット用品他
ハウスキーピング	日用消耗品、文具、ダイニング・キッチン、バス・トイレタリー、 ヘルスケア・ビューティケア、食品他
ホームファニッシング	インテリア、寝具、家具収納他
ホームエレクトロニクス	家庭電器、冷暖房、電材・照明、AV情報機器他
その他	テナント植物、テナントペット、灯油、工事費、サービス料他

3. 第1四半期連結会計期間より、事業部門の商品供給高を別掲したため前年比較にあたっては、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度分を組替えて表示をしております。